



第52回今金町畜産共進会

〔各部門で最高位賞・グランドチャンピオンに輝いた生産者の方々〕

第52回今金町畜産共進会

7月15日、第52回目を迎える今金町畜産共進会が開催されました。

当日は乳用牛17頭、黒毛和種牛33頭の合計50頭が出陳され、生産農家の日頃の研鑽努力による改良成果が披露されました。

審査は厳格公正に行われ、各部のグラントチャンピオン・リザーブチャンピオン・最高位・準最高位が選ばれました。

また第62回道南畜産共進会は、肉用牛の部が7月29日、乳用牛の部が8月19日にそれぞれ八雲町にて開催されます。今金勢からの出陳牛の活躍に期待しましょう！



▲ 乳用牛経産 グランドチャンピオン
インマヌエル デンプシー ミックス



▲ 乳用牛未経産 グランドチャンピオン
クリサンス シャル ブラッド



▲ 黒毛和種経産 最高位 ななよし



▲ 黒毛和種未経産 最高位 あき

賞 名		名 号	出陳者
乳用牛未経産	グランドチャンピオン	クリサンス シャル ブラッド	菊地章太
	リザーブチャンピオン	DH オット サンチヤン	本塚 羽
乳用牛経産	グランドチャンピオン	インマヌエル デンプシー ミックス	山崎良介
	リザーブチャンピオン	エツセス サンチエス アポロ ジョーダン	菊地章太
黒毛和種未経産	最高位	あき	田中一也
	準最高位	さくら	荒川英也
黒毛和種経産	最高位	ななよし	佐藤弘一
	準最高位	きき	佐藤弘一

種子馬鈴薯防疫検査が無事終了しました



◀ 検査を受ける様子

日本一の「今金男しゃく」の元となる種子馬鈴薯の防疫検査が第一期は6月21日、第二期は6月28日、第三期は7月12日に実施され、全筆合格となりました。原種、採種それぞれ圃場が抽出されウィルス株、アブラムシ、植物検診、土壌検査が行われました。この防疫検査は収量や品質などに重大な被害を与える病気（種子伝染）を持った種子を出荷させないために行われます。

春から優良種子生産に向けて何度も圃場を巡回してきた生産者の皆さん、抜き取り等指導に当たられた補助員の皆さんもほっと一息されたことと思います。今後も自主検査の実施など厳格な検査が行われますが、先輩諸氏の努力により現在の地位を築いた「今金男しゃく」の名声を維持、向上させるためにも収穫まで気を緩めずに生育管理・環境整備の徹底をお願い致します。

『今金産黒毛和牛』を使用したハンバーグを開発中！



◀ 試食を行う理事・職員



◀ 豚肉（若松ポークマン）との合い挽きです

現在、Aコープいまかね店では今金産黒毛和牛を使用したハンバーグの商品開発を行っています。7月27日にはハンバーグの試食会がJA今金町大会議室において行われました。

このハンバーグは「地元の材料を使った商品を販売したい」との思いから、ホクレンの協力を得て開発が行われています。商品化にあたっては材料の確保やコストの問題など課題もありますが、お土産・贈り物・お弁当など様々な商品展開が可能となり夢が広がります。

『幅広い年齢層の方々に食べてもらえる商品となるよう頑張ります』と湯元店舗購買課長は語ります。試食会では、より良い商品づくりに向けて理事や職員が試食を行いアンケートに答えました。商品化実現の際には、皆様ご賞味のほど宜しくお願い致します。

檜山北部広域ブロッコリー部会 目揃え会を実施



7月22日、檜山北部広域ブロッコリー部会が目揃え会を行い、生産者・関係者合わせて約50名が参加しました。

目揃え会では現在の選果状況や品種ごとの品質、市況、出荷の際の注意事項等について担当者から説明が行われました。また、市場の方からは情勢報告、普及センターからは病害虫防除について情報提供が行われました。

今金町ミニトマト振興会 目揃え会を実施



7月21日、今金町ミニトマト振興会が本格出荷を前に目揃え会を行いました。目揃え会には32戸の生産者が参加。目揃えの実施の他、生産者毎に出荷の際計量に使用している「台はかり」に誤差が無いのか、普及センター・ホクレンより肥培管理の注意点など講習を行いました。その後、参加者全員で班に分かれGAPの一斉巡回点検を行いました。

STOPコンタミ！今金町稲作部会が巡回を実施



実施にあたり打ち合わせを行う部会役員の皆さん

今金町稲作部会は7月28日、異品種混入防止を目的としてコンタミ巡回を実施しました。

異品種混入事故は、全道中で毎年数件発生しており、その原因の大半が生産者の清掃不備や苗・稲の取り違い等です。コンタミが起これると多大な費用損失や産地の信頼失墜となります。播種から始まり、移植、収穫、出荷などの各作業において、細心の注意を払いましょう。

青年部がCM収録に臨みました



収録に臨む刈屋青年部長

7月23日、STVラジオのスポットCM収録が行われ、J A今金町青年部からは刈屋泰裕部長らが参加しました。

『元気！いまかね』のキャッチフレーズでお馴染みにこのCMは平成17年から今金町のPRを目的として行われており、今年は8月から10月にかけてCMが放送されます。全道に向けて今金町を発信しておりますので、皆様もお聞き逃しなく！



【氏 名】なりた成田 たろう卓朗

【出身地】岩見沢市

【年 齢】26歳（平成2年3月生まれ）

【所属部署】金融部貯金融資産課

【奉職年数】4年目（平成25年入組）



現在の担当業務を教えてください。

入組以来、融資業務全般を行っております。昨年から貯金の業務も一部行うようになり日々仕事に追われていますが、逆に仕事の幅も広がりお客様のニーズにあった提案もできるようなってきただけかな、と思っています。

趣味・プライベートなど教えてください

剣道を小学生の頃からやっていて、今でも月に一回程度は今金町の児童に指導を行っています。あとは、お酒が好きでつい飲み過ぎてしまうので注意しています。休日は街コンによく参加していて、楽しいですが成果のない生活を満喫しています（笑）

PRを一言

各種商品をご用意してお待ちしておりますので、お気軽にお声かけ下さい。ご連絡いただければ、ご自宅までお伺い致します。また、お嫁さんも絶賛募集なのでこちらも宜しくお願い致します（＾＾）

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします

JA北海道中央会

平成28年7月に東京都内で農林水産省との意見交換会を開催しました。「持続可能な北海道農業の確立に向けた政策提案」をもとに、北海道農業の課題や現状を共有し、今後の方向性や対応等について意見交換をしました。

引き続き8月末の平成29年度農業予算概算要求に向けて、働きかけを行って参ります。



ホクレン

道内のホクレン給油所において、7月16日から9月30日の期間、店頭給油をしていただいた方を対象としたキャンペーン、「サマーフェア2016」を実施いたします。

7月に公開となる人気アニメ「ワンピース」の映画とタイアップしたキャンペーンの実施により、幅広い年代の方々にホクレンの給油所をご利用いただき、北海道の農畜産物の魅力をPRしていきたいと思っております。

JA共済連北海道

地域社会貢献活動の一環として、交通事故被害者に対する救命活動支援をはじめ、交通安全教室の開催など、交通事故防止等に向けた取組みを積極的に展開していきます。

7月13日に「飲酒運転根絶の日決起大会」が開催され、同決起大会と、大会後、札幌市内において実施されたセーフティコール（街頭啓発）に参加しました。

	今後の農作物管理		今後の農作物管理
水稲	7/15現在 水稲(遅4) 適期防除及び適切な水管理で稔実向上と登熟の促進に全力を！ ・病虫害防除の徹底！ ・いもち病＞ 基幹防除は①出穂期と②その7～10日後、発生予察情報にもご留意下さい。 ・カメムシ類＞ 乳熟期を中心に防除を徹底。残効の長い薬剤(キラップやスタークル剤など)を出穂期から7～10日後に使用をすることで1回防除が可能(H27指導参考)。その後は予察に基づく追加防除をご検討下さい。 ・出穂・開花時は水が必要！ まだ開花中の場合は3cm程度の浅水で湛水状態を保ちましょう。 ・間断かんがいの実施。 開花終了後は“間断かんがい”を実施。落水後の入・排水と収穫作業円滑化のため、“溝切り”を実施しましょう。 ・登熟後半の土壌水分の維持！ 落水の目安は出穂後25日目頃(穂かがみ期)ですが、落水後は天候やほ場の状況に応じて適宜“走り水”を！(土壌水分が不足すると、枯上りが早く倒伏につながります) ・育苗床土の培養 苗床(置床)や箱土は、早めに土壌診断を実施し、酸度矯正や培養に努めましょう。特に成苗ポットや型枠様式の置床では根の生育抑制や異常褐変症状につながる「酸性化」と「燐酸過剰」の状態が目立ちますので総合分析を行いpHやECの他に燐酸・石灰・苦土・加里などを確認しましょう。 改善策①:pHを4.8程度まで上げる。…必要なタンカル量を 改善策②:燐酸・苦土比や石灰・苦土比により必要な苦土量補強…苦土炭カル、カルマグなど 改善策③:燐酸、加里の量により施肥改善…低燐酸銘柄(S066)、単肥など	畑作	小豆(遅4日) ・病虫害の防除 病害の発生や今後の天候に十分注意し、防除を行いましょう。 ・マメアブラムシに注意！ マメアブラムシは、黒色で集団寄生するのが特徴です。ほ場をよく観察し、早期の防除に努めましょう。 ・病害の防除(灰色かび病・菌核病) 今後茎葉が繁茂し、病害の発生・蔓延の恐れがあります。病害の発生状況を確認し、早期防除を実施しましょう。 てんさい(早4日) ・病虫害の発生に合わせた防除 ほ場をよく観察し、病虫害の発生状況に注意しましょう。褐斑病の発生に注意し早期の防除を心がけましょう。ヨウムシは若齢幼虫のうちに早めの防除を、ハダニは発生を確認したら、すみやかに防除を行いましょう。 ・育苗土の準備 病虫害が発生する恐れのない腐植に富士土を準備しましょう。pH矯正目標は6.0～6.5です。土壌pHを測定し、必要に応じて石灰質資材で矯正しましょう。
	秋まき小麦 ・9月は次年度のは種が始まります は種前に土壌診断を行い、土壌pHを確認し極端に低いほ場は、炭カルなど石灰質資材で矯正しましょう。生育期間中に低pHによる障害が出てしまうと、対処の方法がなく施肥効果が半減します。 ・は種機の調節を行いましょう！！ 「きたほなみ」は茎数が増加しやすく、適期・適量は種が重要です。は種作業の前に、は種機のは種量調節のダイヤルを調節して、適量は種を行いましょう！！ 露地ばれいしょ(早2日) ・茎葉処理について デシカント剤の使用、使用基準を守りましょう。土壌が極端に乾燥しているときは避け、朝露の無い時間帯に、茎葉にムラなく散布しましょう。 ・収穫作業について キズや打撲といった機械作業による規格外の発生が増えています。収穫前に収穫機械の調節・整備、特に緩衝材部分の調整を行いましょう。また、収穫時にコンベヤの回転速度・堀取り刃の深さを調節しましょう。 茎葉処理後10日以降、ほ場が乾いた晴天の日に収穫作業を行いましょう。寒い日に行くと打撲が多くなります。収穫後のいもは、風通しの良い光の当たらない場所に置きましょう。JAで行う収量調査結果を参考にして作業を進めてください。 早出しばれいしょ(早2日) ・収穫作業について 皮剥けを防止するため丁寧に収穫し、品質の良いばれいしょの出荷に努めましょう。 大豆(遅2日) ・品種に合わせた病虫害防除 黄大豆では紫斑病が黒大豆ではべと病が子実の病斑を形成し問題となります。べと病は、風通しが悪いと発生しやすくなります。生育と発生状況を観察し、適期防除に努めましょう。 ・マメシキイガ 早めの防除を！ 近年全道的に発生が増え、被害が増えています。大豆連作ほ場や昨年の大豆作付ほ場に近いほ場では特に注意し、早期にローテーション防除を実施しましょう。		牧草(遅4日) 飼料用とうもろこし(遅4日) ・夏場の飼養管理 生乳のMUNが適正範囲(バルク:10～14mg/dl 個体:8～16mg/dl)でなければ、飼料中のエネルギーと蛋白質のバランスがくずれていないかチェックしましょう。また食い込みが全体的に落ちていないか観察しましょう。 放牧草の8月以降の再生量は、大きく減少します。放牧牛の栄養確保のため、面積を広げたり、乾草などを併給しましょう。 ・2番草の施肥と刈取り 肥料や尿などで2番草の施肥をしましょう。 オーチャード主体草地は40～45日を日処に刈取りを進めましょう。 チモシー主体草地の刈取り適期は、1番草刈取り後50～55日ですが、マメ科率15%以上で1番草を早刈りしたほ場や、中・晩生種主体のほ場は、55～60日程度の生育期間を確保しましょう。 ・草地の追肥 オーチャードは8月下旬に新芽の発生や分けつを行います。収量性向上のために、この時期に適正な追肥をしましょう。 ・衛生管理の徹底 残草と湿度の高い状況が続きます。家畜の栄養補給に努め、「病気を持ち込まない、持ち出さない、広めない」を徹底しましょう。外部の人が入れるエリアを制限し、家畜エリアは乾燥と衛生的な状態を維持しましょう。
畑作		園芸	ブロッコリー 気温が上昇してくると、花蕾腐敗病の発生に注意が必要です。計画的に薬剤を予防散布して発生を防ぎましょう。 銅剤(「コサイド3000」等)は高温時の散布で葉害・葉斑を生じる場合がありますので、夕方などの気温の下がる時間帯に散布しましょう。 だいこん・こかぶ コナガ及びアオムシ等の発生が多い時期になっています。系統の違う剤によるローテーション防除を行いましょう。 にんじん 黒葉枯病は、生育最盛期から後半に発生が多くなる病害です。気温が高く、晴天と雨天が繰り返されると多発します。収穫までの日数を考慮し計画的に防除を行いましょう。 軟白長ネギ 8月はネギアザミウマ(スリップス類)の発生最盛期です。ハウス周辺の雑草から進入し、成虫および幼虫ともネギの葉上で食害します。ハウス周辺の雑草を処理するとともに発生に注意して適切な防除を行いましょう。

道南NOSA Iからのお知らせ

[園芸施設共済]

台風シーズン到来



園芸施設共済

今年度も台風被害が予想されます。また、近年はゲリラ豪雨・竜巻など予測できない自然災害が多発しています。万が一の事態に備えて加入をお願いします。

① 災害発生前に加入を

台風の接近や大雨・暴風雨などの警報発令により、被害の発生が高い確率で予想される時点での「かけこみ加入」はできません。

② 共済事故について

共済金の支払対象となる「共済事故」は次のとおりです。

- ・風水害、ひょう害、雪害、その他気象上の原因(地震及び噴火を含む)による災害
- ・火災、破裂及び爆発、航空機の墜落等
- ・車両の衝突及び接触等。

被害申告は速やかに

責任期間中に共済事故が発生したとき、速やかに組合に事故発生通知(被害申告)することが組合員に義務付けられています。通知がない場合や、被害申告が遅れた場合は、共済金が支払われません。

近年、被害発生から数週間、または1か月以上経過してから被害申告が多発しております。遅延しての被害申告は、正確な被害認定として認められない事から対象外となります。

多忙な時期とは存じますが、被害申告は速やかにNOSA Iまで連絡願います。

園芸施設共済における連絡先

北部支所 ☎ 84・5042

FAX 84・4398

今金診療所 ☎ 82・1842

FAX 82・0718

DOWNLOAD START!



JAグループ北海道から、食と農につながるスマホアプリが新登場!

JA²MP

集めて楽しい
ポイント
ラリーも!

北海道JAグループ各会
JAグループ北海道の農産物・食
品に関する情報を集めて、
ポイントラリーに参加しよう。
アプリで簡単に参加しよう。

チェックイン
スポット
ラリー

オススメ
農産物
情報

今日の
特産

お知らせ



ダウンロードはコチラ
App Store, Google Play でお
ダウンロードできます。
JA2MP